

科目名	日常生活と法律		担当者名	藤田忠尚(フジタタダヒサ)	
開講年次	1	開講時期	後期	クラス	
授業形態	講義	履修方法	選択	単位数	2
ナンバリング	B0050	該当DP	DP2,DP3		
授業概要	法と法学の基礎を学びます。法律は各国ごとに存在しますので、国ごとに法律の内容は異なります。しかし、人の行き来が盛んになるにしたがって、各国の法律は少しずつ共通性を深めつつあります。この授業では、最近、外国からの留学生が増えてきた事情を考え、ティーンエイジャー向けの世界標準の法学入門書としてイギリスで刊行されている「Law For Beginners」の日本語訳をテキストにして、「考える法学」を学びます。なお、日本法の知識については、適宜プリントを配布します。				
到達目標	1. 法に関する世界基準の教養を身につける。 2. 具体的な問題を、法的に考えられる力(いわゆるリーガル・マインド)を身につける。 3. 必修科目「ビジネスと法」を理解するための前提知識を身につける。				
授業計画	回	授業内容	授業外学習(内容と時間)		
	1	法と法学:学習ガイダンス	授業で投げかけた課題について考える。(以下同じ。)	60分	
	2	刑法① 犯罪と刑罰	同上	60分	
	3	刑法② 犯罪と刑罰	同上	60分	
	4	民法① 人どうし、会社どうし、組織どうしの関係	同上	60分	
	5	民法② 人どうし、会社どうし、組織どうしの関係	同上	60分	
	6	法のつくりかた① 憲法と国のかたち	同上	60分	
	7	法のつくりかた② 憲法と国のかたち	同上	60分	
	8	国境を超える法① 国際法	同上	60分	
	9	国境を超える法② 国際法	同上	60分	
	10	人権① 憲法と国際人権法	同上	60分	
	11	人権② 憲法と国際人権法	同上	60分	
	12	正義① 法の目的	同上	60分	
	13	正義② 法の目的	同上	60分	
	14	大きな疑問	同上	60分	
	15	つぎはどうする?			
教科書	世界基準の教養 for ティーンズ『はじめての法律』山本龍彦監修(河出書房新社)				
参考書	USBORNE,LAW FOR BEGINNERS,USBORNE PUBLISHING LTD.,London England.(テキストの原著です。)ポケット六法(有斐閣)。その他授業の中で都度紹介します。				
成績評価	方法	割合	備考		
	授業態度	30%	よく頭と手を動かして授業を受け、的確なレスポンスをしてください		
	リアクションメール	30%	適宜メールで提出していただき、各人の学習効果を確認します。		
	定期試験等	40%	学期末に課題を出し、レポートを提出していただきます。		
			レポートは返却しません。		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・法律の学習は積み重ねなので、毎時間の課題を通じていねいに復習をすること ・授業中に他の学生に迷惑となる行為は厳禁です。違反者には措置をとります。 ・受講者数が多い場合は、出席状況と授業態度を確認するために座席指定をしますので、その場合は必ず指定された席に着席してください。 				
実務経験との関連	行政書士事務所経営でつちかった法的なものの考え方を、基本にさかのぼって伝達する。				
オフィスアワー		メールアドレス	基本的にはCラーニングで連絡します。		